

**\* 10周年を迎えた JNLT (大型光学赤外線望遠鏡) 「すばる」 記念品 3点**

今、2009年1月である。日本の天文学者の長年の願望であった大型光学赤外線望遠鏡「すばる」がファーストライト10周年を迎えた。その「すばる」の記念品3点について書いておきたい。「すばる」は1998年12月のエンジニアリングファーストライトを経て1999年1月に観測を始めたサイエンスファーストライトを迎えて10年になる。筆者は20数年間にわたって、大変な紆余曲折を経て実現したこの望遠鏡の最初から完成まで係ったものとして非常に感慨深いものがある。その建設時の8年間はハワイに滞在して建設現場にいた。「すばる」は完成10年を経ても世界最高性能の望遠鏡として活躍し、1級の観測データを出し続けている。その記念品は、

一つは鏡材を製作したアメリカのコーニングが主鏡材完成時に関係者に配布したマグカップである(写真1)。

二つ目はやはり鏡材を製作したコーニングが製作し主要関係者に配布した文鎮である(写真2)。

三つ目は、1999年9月17日に举行されたすばる望遠鏡完成記念式典の際、配布された置物である(写真3)。



写真1 鏡材の製作過程を表す文様のついた ULE で作られたマグカップ

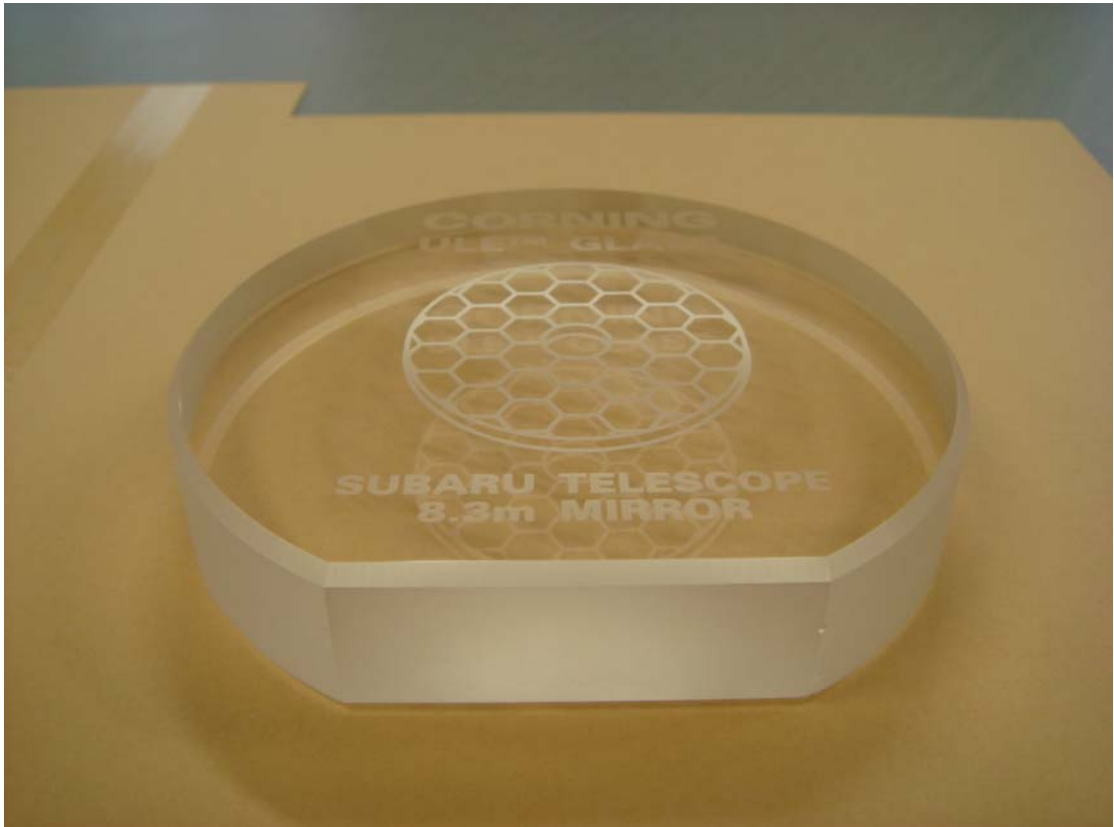


写真2 「すばる」は有効口径8.2mだが、鏡材としては直径8.3mあったことを示す文鎮

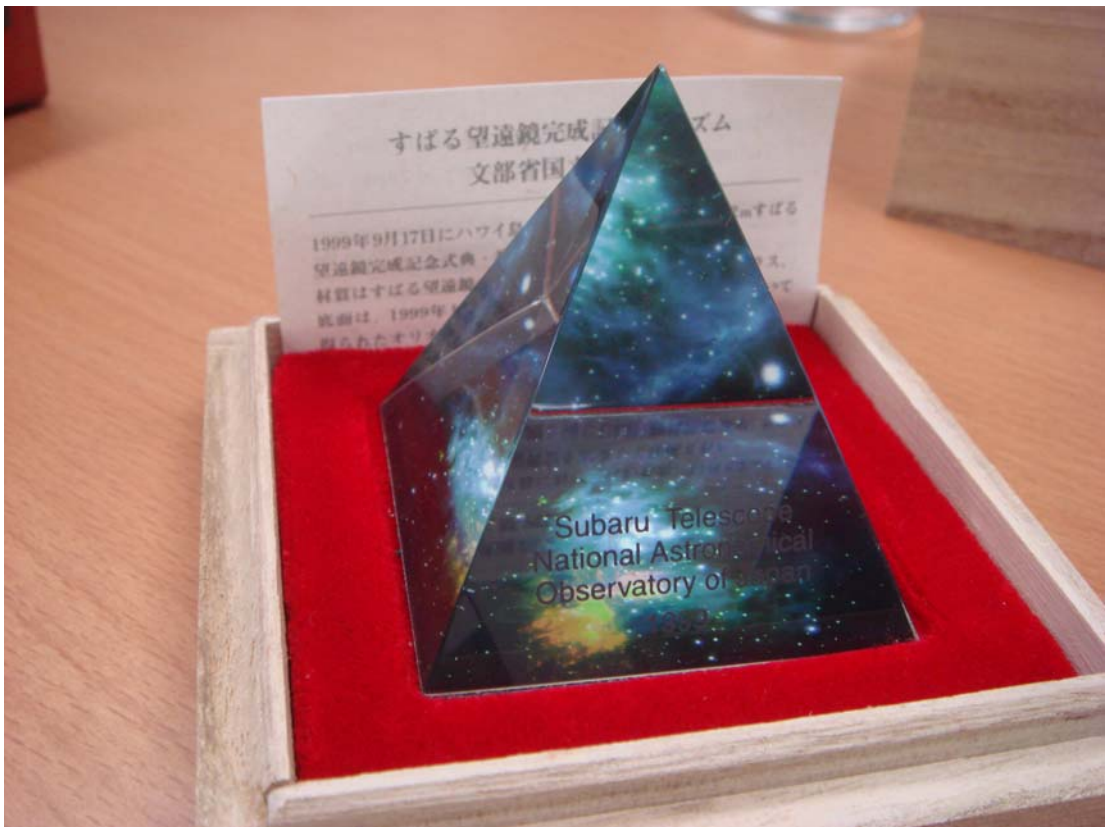


写真3 ファーストライトの画像を埋め込んだピラミッド型の ULE 製置物